vintagetechnics.ru

DENON

FULLY AUTOMATIC
DIRECT DRIVE TURNTABLE SYSTEM

フリーオートマチック ダイレクト ドライブ ターンテーブルシステム

DP-47F

取扱説明書

本機の特長を十分に発揮してご使用いただくために、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しい操作で末永くご愛用くださいますようお願いします。尚、万一ご使用中にわからないことや不具合が生じたときのために、お読みになったあと必ず保存してください。

目　次

特　　長 …… 2
ご使用になる前に …… 2
このセットを安全に
　ご使用いただくためのご注意 …… 3
保証とサービスについて …… 3
各部の名称と働き …… 4
組 立 て …… 4
接続のしかた …… 5
針圧・アンチスケーティング・Qダンピングの調整 …… 5
演奏方法 …… 5
部品の交換と再調整 …… 6
主な仕様 …… 7
故障？　ちょっとお調べください …… 7
コロムビアサービス網一覧表 …… 裏表紙

梱包箱の中には本体とは別に次の品物が入っていますので、ご確認ください。

① ターンテーブルシート …… 1
② ターンテーブル …… 1
③ ヘッドシェル(カートリッジ付) 1
④ バランスウエイト …… 1
⑤ 45回転レコード用アダプター …… 1
⑥ 取扱説明書 …… 1
⑦ 保証書 …… 1

特　長

1．電子制御による無接触サーボトーンアームを搭載

独自の無接触電子制御サーボトーンアームをマイクロプロセッサーで制御する方式を採用したことにより、音質劣化のない使い易く安全性の高いオート動作を可能にしました。

2．Qダンピング方式の採用
（ダイナミックサーボトレーサー）

カートリッジのコンプライアンスとトーンアームの実効質量による低域共振を水平、垂直両方向共に電子的にダンピングし、クロストークの悪化や混変調ひずみの増加を効果的に抑制して、軽量アームの特長を最大限に発揮させ、音像定位が良く、雑音やひずみの少ないレコード再生を実現しました。

3．軽質量ストレートアームの採用

すぐれたトレース能力をもつハイコンプライアンスカートリッジの性能を最大限に引き出し、最新のハイグレードなレコードに対しても余裕十分なトレース能力を発揮します。

4．ロケート機構を装備

ロケートボタンの操作で、トーンアームに手を触れることなく、トーンアームを希望の位置に移動させて、演奏することができます。

5．サイズ検出、自動スピード切換機構の採用

自動演奏でLPレコード（33⅓回転）、シングルレコード（45回転）盤を使用する場合、自動的にサイズを検出しスピードも自動的に切換わります。また、レコードが無いときスタートボタンを押してもトーンアームが動作しない安全設計になっています。

6．両方向サーボ DENON クオーツの採用

磁気記録検出方式とクオーツロックの組合わせに、さらに両方向サーボと電子ブレーキを追加し、安定した回転性能と敏速な動作を実現しています。

7．優美な仕上げの木製キャビネット

鏡面仕上げ、高さ85mmの大型キャビネットとハウリング特性を考慮した新型インシュレーターを採用しました。

8．新開発高出力MCカートリッジを装備

高いトレース能力と分解能を持つ高出力MCカートリッジ DL-80MC を搭載し、クリアーなサウンドを再生します。

ご使用になる前に

ご使用になる前に、次のことにご注意ください。

●保証書の手続きを

お買い求めいただいた際、購入店で必ず保証書の手続きをおこなってください。保証書に販売店印がありませんと、保証期間中でもサービスの必要がある場合に実費をいただくことになりますので、十分にご注意願います。

●セットの移動

セットを移動する場合には、接続コードのショートや断線を防止するために、必ず電源プラグを抜きとり、他のオーディオ機器との接続コードを取り外してから移動させてください。

●電源スイッチを入れる前に

各部の接続に間違いはないか、接続コードに異常はないか、今一度確認してください。接続コードを抜き差しする場合も必ず電源スイッチを切ってから行ってください。

●チューナーに雑音が入るとき

本機をご使用中にチューナーに雑音が入る場合には、離してお使いください。

●モーターに注油は不要

モーター軸受部には特殊オイルが注入されていますので、注油の必要はありません。

●保管をしてください

この取扱説明書をお読みになった後は、保証書とともに大切に保管してください。

●説明の便宜上、イラストは原型と異なることがあります。

【ステレオ音のエチケット】

◎楽しい音も、時と場所によっては気になるものです。
◎隣り近所への配慮（おもいやり）を十分にいたしましょう。
◎ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。
◎特に静かな夜間には、小さな音でも通りやすいものです。
◎夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。
◎窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。
◎お互に心を配り、快よい生活環境を守りましょう。

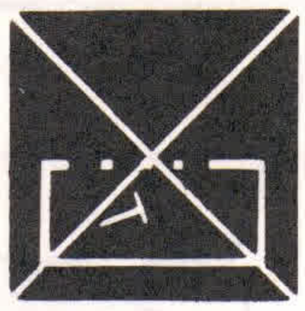
このセットを安全にご使用いただくためのご注意

〈高温にご注意〉

●長時間、直射日光を受ける場所やストーブなどの暖房器具の近くに置くことは避けてください。
　また、放熱をよくするため壁から10cm以上離して置いてください。

〈内部に異物を入れない〉

●セットのすき間や内部に縫い針やヘアピン、硬貨などの金属物が入りますと、感電や故障の原因になりますので避けてください。

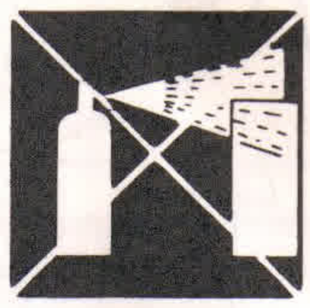


〈湿気や水、ホコリは禁物〉

●湿気の多い場所やホコリの多い場所に置きますと故障の原因になる場合があります。
　また、あやまって内部に水が入ると故障や事故の原因となりますので、本機の上には花びんなど水の入ったものを置かないでください。

〈殺虫剤や化学雑きんは大嫌い〉

●一般市販の殺虫剤、ベンジン、シンナーなどが付着しますとキャビネットが変色したり、変形しますのでご注意ください。
　また、ほこりなどをふきとるときは、やわらかい布を使い、化学雑きんの使用はさけてください。



〈電源コードは大切に〉

●電源コードは傷つけないよう大切にお使いください。傷がついた電源コードを使用することは危険です。
●プラグを抜くときは、電源コードを引っぱらないで必ずプラグを持って抜いてください。

※本機は国内仕様です。必ずAC 100Vの電源コンセントにプラグを差し込んでお使いください。100V以外の電源には絶対に接続しないでください。

〈キャビネットは開けない〉

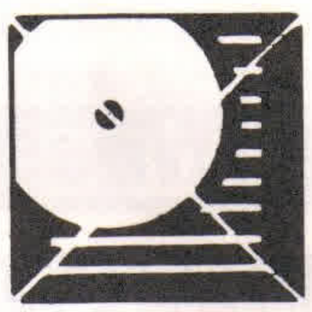
●キャビネットや底ぶたを開けて内部に手を入れますと危険ですので、開けないでください。
　万一、不都合が生じた場合には、すぐに電源プラグを抜いてお買い上げ店、又は最寄りの弊社営業所にご相談ください。

〈留守にするとき〉

●外出、旅行などで長時間ご使用にならないときは、必ずプラグをコンセントから抜いてください。

〈セットの風穴に物を置かない〉

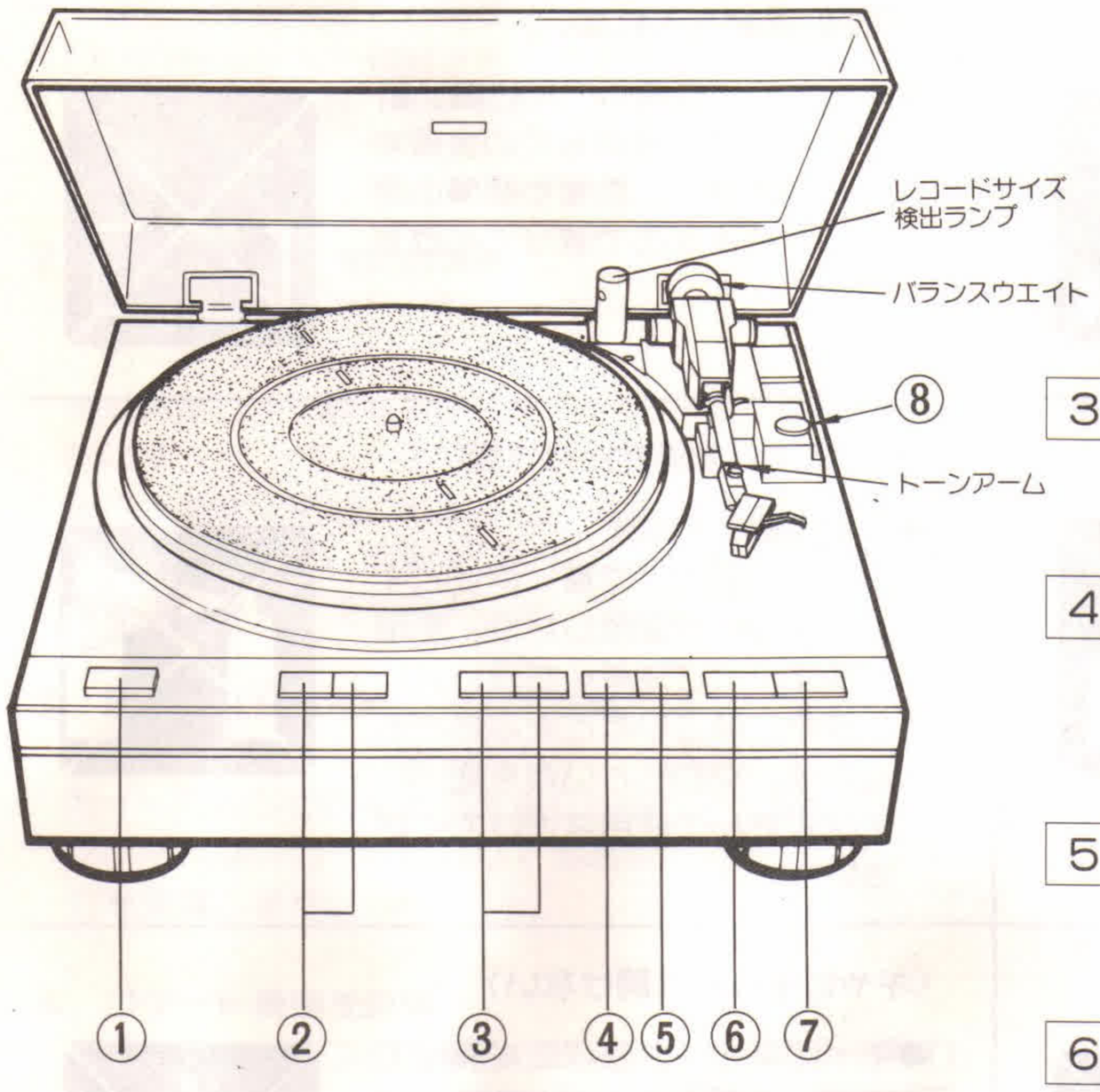
●セットの風穴に物（カセットケースなど）を置くとセット内温度が上がり、故障の原因になります。



保証とサービスについて

1．このレコードプレーヤーには、保証書が添付されております。保証書は、所定事項を販売店で記入し、お渡し致しますので、記載内容をご確認のうえ、大切に保存してください。
2．保証期間は、お買上げ日より1年間です。保証書の記載内容により、お買上げ販売店が修理を申し受けます。その他詳細につきましては、保証書をご覧ください。
3．保証期間後の修理については、販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有料修理致します。
4．このレコードプレーヤーの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切後8年です。この期間は、通商産業省の指導によるものです。性能部品とは、このレコードプレーヤーの機能を維持するために必要な部品です。
5．なお、保証および修理についてご不明の場合は、お買上げ販売店か、お近くの弊社「お客様相談センター」、または営業所、出張所（コロムビアサービス網一覧表をご参照ください）にご相談ください。

各部の名称と働き



1	電源スイッチ	POWER

電源を入・切します。ボタンを押すと電源が入り、レコードサイズ検出ランプが点灯します。電源を切る場合はアームをアームレストへ戻し、クランプしてからボタンを再度押してください。

2	スピード切換ボタン	33.START/LOCK.45

手動の場合、演奏するレコード盤の回転数に合わせて切換えます。

33⅓回転レコード盤……「33・START」
45　回転レコード盤……「45・START」

自動演奏の時、30cmレコードの場合は「33」に、17cmレコードの場合は「45」に自動的に切換わります。また、スピード表示ランプは「LOCK」表示も兼ねていますので、ターンテーブルが規定回転になるまでは点滅していますが、規定回転になると再び点灯します。

3	ロケートボタン	◀LOCATE▶

トーンアームを左右の方向に動かして、希望の位置から演奏することができます。

4	アームリフターボタン	UP LIFTER

手動演奏や演奏中にトーンアームを上下させるときに使用します。ボタンを操作してトーンアームを上げるとUPランプが点灯します。

5	リピートボタン	ON REPEAT

繰返し演奏するときこのボタンを押します。すると「ON」ランプが点灯します。

6	スタートボタン	START

自動演奏を開始するとき、このボタンを押します。

7	ストップボタン	STOP

演奏を中止するとき、このボタンを押します。

8	針圧調整つまみ	TRACKING FORCE/ANTI SKATE

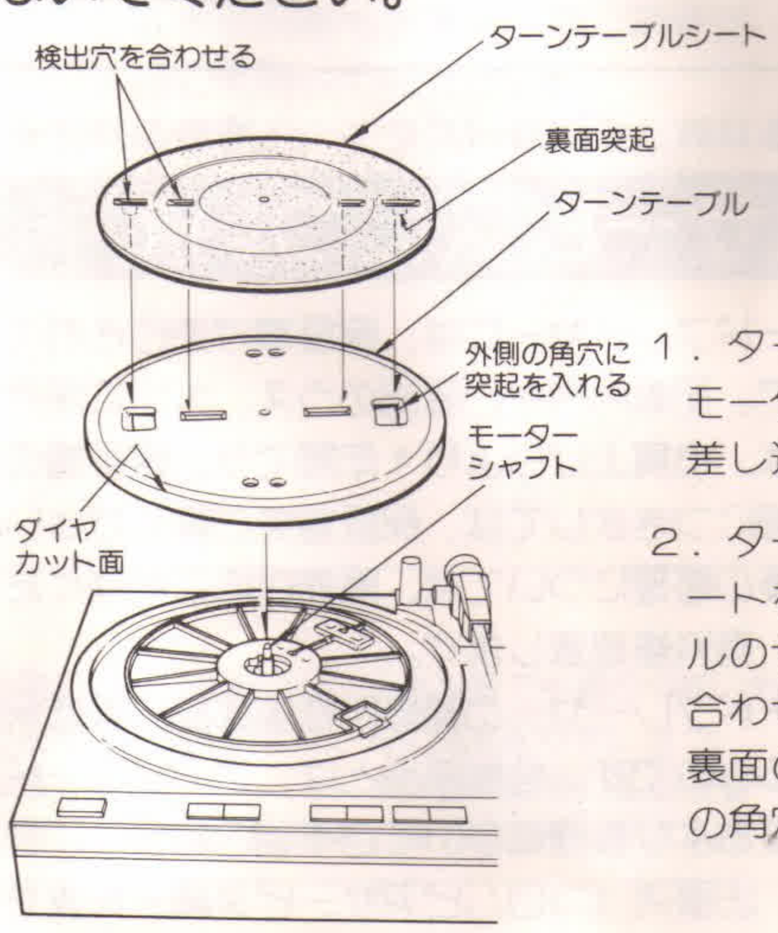
針圧を調整するときに使用します。
アンチスケート、Qダンピングも同時に調整されます。

組立て

組立てが完了するまで、電源コードは接続しないでください。

1．梱包用パッキングをはずす。。
キャビネットについている左右のパッキング（発泡スチロール）をはずしてください。

2．ターンテーブル、ターンテーブルシートを取付ける。
ご注意：
- ターンテーブル裏面の磁気コーティング面（黒く塗ってある部分）に傷をつけないように注意してください。また、ターンテーブルのダイヤカット面（光沢部）に直接手をふれますと、腐蝕の原因になりますのでご注意ください。
- ターンテーブルとターンテーブルシートのサイズ検出穴が合っていないと、レコードサイズ検出が行われません。
透明レコードを演奏する時以外は、必ず検出穴を合わせてください。



1．ターンテーブルをモーターシャフトに差し込みます。

2．ターンテーブルシートをターンテーブルのサイズ検出穴に合わせてのせます。裏面の突起部も外側の角穴に入れます。

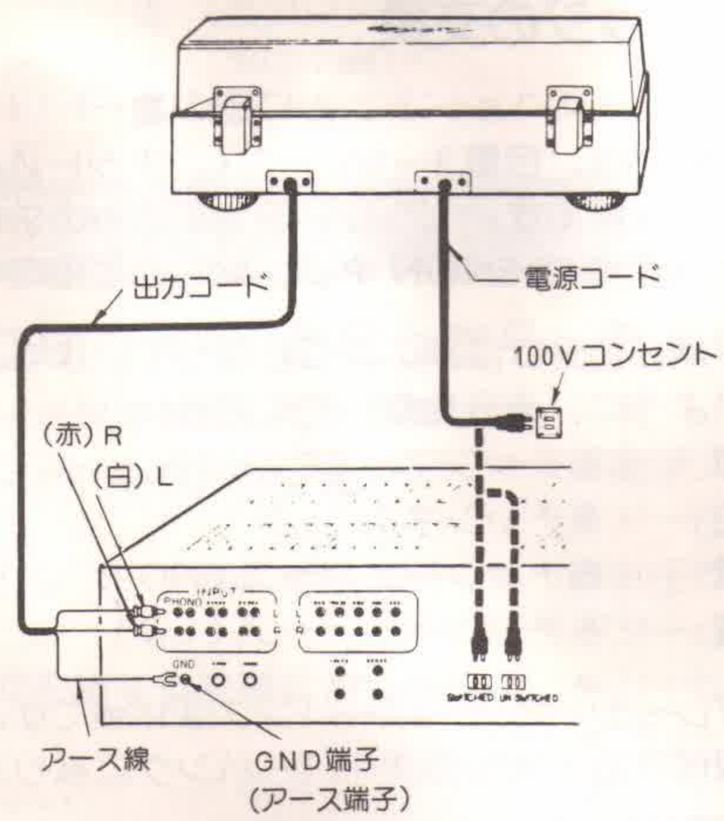
接続のしかた

ご使用になるアンプの電源スイッチは必ず切った状態にして接続してください。

1．出力コードのL・Rをご使用になるアンプ「PHONO」入力端子L・Rへそれぞれ接続します。また、アース線（出力コードと一緒になっている）を、アンプの「GND」端子（アース端子）へ接続してください。

ご注意：
付属のカートリッジDL-80MCはムービングコイル（MC）型ですが、高出力型のためMM用の「PHONO」端子に接続してご使用いただけます。

2．電源コードをAC 100Vの電源コンセントへ差し込みます。（あるいはご使用のアンプなどに電源コンセントがあれば、そこに差し込みます。この時、アンプなどの取扱説明書を参照し、電源コンセントの電力容量が十分あることを確認してください。）



針圧・アンチスケーティング・Qダンピングの調整

●電源スイッチを切っておきます。

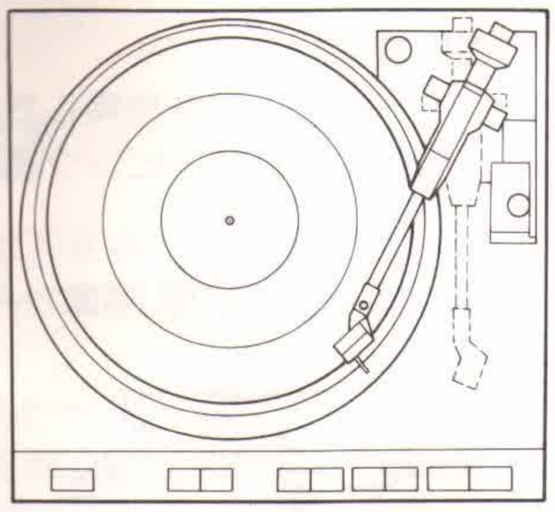
1．アームクランプをはずす。

トーンアームを手で持ち、アームクランプを矢印の方向へ動かしてください。

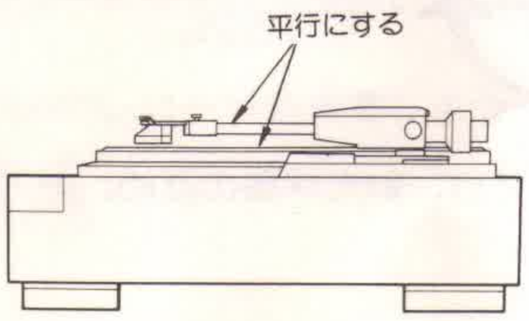
2．トーンアームを移動する。

トーンアームをアームレストから外し、ターンテーブルの上まで移動させます。

注意：トーンアームを移動させる時はカートリッジ針カバーをおろして針先が直接ターンテーブルなどに触れないよう注意してください。（6ページ参照）



3．水平バランスをとる。



バランスウエイトを前後させ、手を離したとき、トーンアームがターンテーブル面と平行になるようにします。

4．トーンアームをアームレストにもどす。

トーンアームをアームレストにもどし、クランプしてください。

5．針圧・アンチスケーティング・Qダンプ

針圧調整つまみを回し、表示線に1.8を合わせてください。（このプレーヤーに付属のカートリッジの針圧は1.8gです。）
この時、自動的にアンチスケートおよびQダンプ量が設定されます。

★針圧の調整について

付属のカートリッジ以外のカートリッジをご使用になる場合、カートリッジの取扱説明書をよくお読みのうえ、そのカートリッジの適正針圧と同じ数値（g）に合わせてください。

演奏方法

演奏の前に

① ご使用のアンプの電源を入れ、切換えスイッチを「PHONO」にします。
② レコード盤をのせ、針カバーを上げます。（6ページ参照）
③ プレーヤーの電源を入れます。
④ アームクランプをはずします。

★自動演奏の場合

① スタートボタンを押すとトーンアームがレコード盤上へ移動し、演奏が始まります。
●30cmレコード盤の33回転、17cmレコード盤の45回転の場合は、スピード、サイズが自動的に切換わります。それ以外のレコードをかけるときは、次の順序で行ってください。
[1] スタートボタンを押します。
[2] 33、45スタートボタンでスピードを合わせます。
② 演奏が終わると、トーンアームがアームレストへ戻り、ターンテーブルの回転が止まります。（リピートスイッチがoffの場合。）リピートボタンがon（点灯）の場合は、繰り返し演奏します。

★手動演奏の場合

●レコードの大きさが規格外のとき。
●レコードの途中の位置から演奏する場合。

次の3つの方法で演奏することができます。

方法：1

① トーンアームを手でレコード盤の希望の位置に移動して針をおろします。このとき、ターンテーブルは回転しません。
② レコード盤に合った回転数の33、45スタートボタンを押すと、ターンテーブルが回転し演奏を始めます。

方法：2

① レコードの回転数に合った33、45スタートボタンを押します。
② 手でトーンアームをレコード盤の方向に移動すると、ターンテーブルが回転します。
③ 希望の位置に針をおろすと、演奏を始めます。

方法：3

① アームリフターボタンを押しUP（点灯）にします。
② 手でトーンアームをレコード盤の希望の位置へ移動します。
③ レコードの回転数に合った33、45スタートボタンを押すとターンテーブルが回転します。
④ トーンアームがおりて演奏が始まります。

★ロケート演奏の方法

前記の操作のほか、ロケートボタンによってトーンアームを移動させることができます。

① 移動させる方向のロケートボタンを押します。
② 針先を希望の位置まで持っていきます。
③ ロケートボタンから手を離すと、トーンアームがおりて演奏を始めます。

● **次の場合でもロケート操作ができます**
○演奏中のとき。
○トーンアームが移動中のとき。

注） ロケート演奏をする場合は、針先をターンテーブルシートの上におろさないようにご注意ください。

★透明又はカラーレコードを演奏する場合

ターンテーブルシートを90°回転させ、ターンテーブルのサイズ検出穴をふさいで演奏してください。（反ったレコードを演奏する場合も、同じ操作をしてください。）

ご注意：

スタートボタンを押すと針先は必ず30cmの位置に降下します。30cm盤以外のレコードを使用する場合は針先の破損につながりますので、必ず手動演奏にしてください。

★繰返し演奏の方法

リピートボタンをon（点灯）にします。リピートを解除するまで繰返し演奏を続けます。リピートを解除する場合は再度リピートボタンを押してください。

部品の交換と再調整

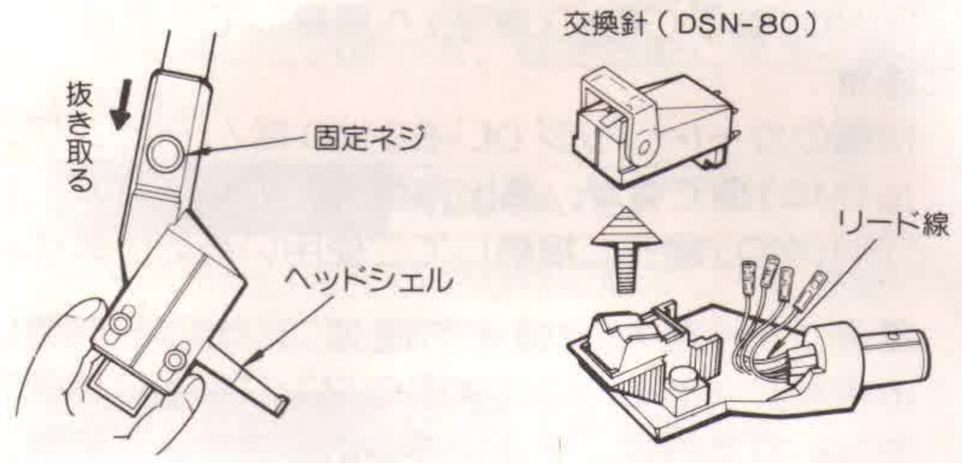
針先の交換

付属のカートリッジの針先耐用時間は約500時間です。レコード盤を傷つけたり、音がひずんだりしますので、早めに交換してください。

●交換針のお買い求めは、必ず「**DENON DSN-80**」とご指定ください。他の交換針をご使用になった場合には、性能、故障に対して保証いたしかねます。

●交換のしかた

① アーム先端の固定ネジをゆるめ、ヘッドシェルを矢印の方向に抜き取ります。
② カートリッジ後端のリード線（４本）を外します。
③ 針カバー両端を手で持ち、矢印の方向に取り外します。（この時、端子も同時に外れます。）
④ 新しい交換針を必ずカチッとロックするまでさし込んで取付けます。
⑤ 端子にリード線を接続します。
（接続方法は、カートリッジの交換の項をご参照ください）

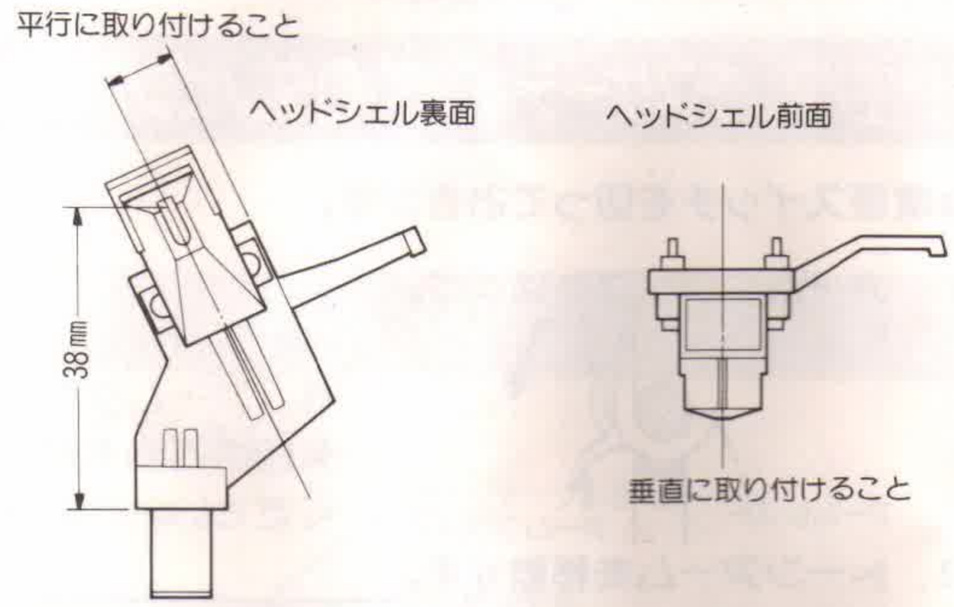


カートリッジの交換

このプレーヤーのヘッドシェルに別のカートリッジを取り付ける場合は、自重3〜12g（ビス、ナット込み）であれば取付け可能です。（ヘッドシェルのみお求めになる場合は販売店で「**DENON PCL-40**」とご指定ください）

●リード線の色分けは次のようになっています。間違いのないように、十分注意してください。
赤 …… 右チャンネル（R）
白 …… 左チャンネル（L）
緑 …… 右チャンネルアース（RG）
青 …… 左チャンネルアース（LG）

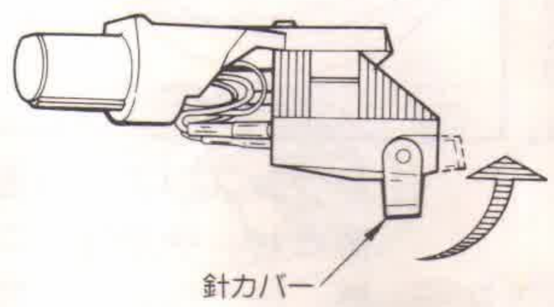
●このプレーヤーのオーバーハングは16mmです。図のように取付けると所定のオーバーハングになります。



ご注意：

カートリッジを交換した場合は、水平バランス、針圧調整、Qダンピング調整を忘れずに行ってください。

●針カバーの上げ方（付属カートリッジDL-80MCの場合）



演奏の時は、矢印の方向に針カバーを上げてください。

●演奏を聞き終わりましたら、針先保護のため、針カバーをおろしてください。

主な仕様

●フォノモーター部

駆動方式	サーボ式ダイレクトドライブ
回転数	33⅓rpm 45rpm
ワウ・フラッター	0.010% wrms以下（回転系） 0.020% wrms以下（JIS）
S／N	78dB以上（DIN-B）
起動時間	2秒以内で規定回転（33⅓rpm時）
ターンテーブル	アルミダイカスト 直径310mm
モーター	リニアドライブモーター
スピード制御方式	周波数検出によるスピードサーボおよび位相サーボ
負荷特性	0%（針圧80g最外周）
回転数偏差	0.002%以下

●総合

電源	AC 100V 50/60Hz
消費電力	約7W
寸法	(巾)434×(高さ)約179×(奥行)約410 〔単位：mm〕
重量	約8.5kg

●トーンアーム

アーム形式	ダイナミックバランス ストレートパイプ型トーンアーム
有効長	220mm
オーバーハング	16mm
トラッキングエラー	3°以内
オート機構	電子制御フルオート
針圧可変範囲	0～3.0g（1目盛 0.1g）
適合カートリッジ自重	約3.0～12.0g（ビス、ナット含む）

●カートリッジ

DL-80MC	出力電圧	1.6mV
	再生周波数特性	20Hz～45kHz
	針圧	1.8±0.3g 高出力MC型
	交換針	DSN-80

※上記の仕様および外観は、
改善のため今後変更されることもあります。

故障？ ちょっとお調べください

故障かな……と思ったら、ちょっと次のことをチェックしてみてください。

スタートボタンを押しても演奏しない		
トーンアームが移動しない	●電源スイッチが入っていますか	
	●アームクランプをはずしてありますか	5ページ参照
針先がレコード盤におりない	●針圧がかかっていますか	5ページ参照
	●アームの水平バランスが取れていますか	5ページ参照
針先が希望する位置におりない	●カートリッジが正しくヘッドシェルに取付けられていますか	6ページ参照
	●プレーヤーが水平に置かれていますか	
音が出ない	●カートリッジとヘッドシェルの接続は正しいですか	6ページ参照
	●出力コードが正しくアンプに接続されていますか	5ページ参照
	●アンプのつまみ類の調整、切換えは正しいですか	
ハム雑音（ブーン）が出る	●出力コードのアース線はアンプに接続しましたか	5ページ参照
	●出力コードのプラグは確実に接続されていますか	
	●ヘッドシェルは固定ネジでしっかり固定されていますか	6ページ参照
針とびを起す	●針圧が適正針圧になっていますか	5ページ参照
	●レコード盤がそったり、キズが付いていませんか	
	●針先にほこりが多量に付いていませんか	
アームが途中で進まない	●レコード盤にキズが付いていませんか	
	●アームが何かに当っていませんか	
音が小さい(大きい)	●カートリッジの種類（出力）に適したアンプの接続切換えになっていますか	
チューナーに雑音が入るとき	●本機をご使用中にチューナーに雑音が入る場合には、チューナーとプレーヤーをお互いに離すか、アンテナ線を離してお使いください	
電源を入れるとアームが上下する	●電源投入時アームが上下する場合がありますが故障ではありません	
トーンアームがアームレストに戻る	●透明なレコードを使用していませんか。	
	●レコード盤がそっていませんか	
17cmのレコードをかけてもトーンアームが30cmレコードの位置にいく	●ターンテーブルシートが正しくのっていますか	4ページ参照
レコードサイズを検出しない	●ターンテーブルシート上に強い光（直射日光、電灯の光など）が当っていませんか	
17cmのレコードを演奏しようとしても、トーンアームがアームレストにもどる	●ターンテーブルシートに強い光（直射日光、電灯の光など）が当りますと正常な動作が得られないことがありますので、強い光を当てないようにしてご使用ください。	

DENON

コロムビアサービス網一覧表

●当社製品についてのお問い合わせ、アフターサービスについてのご相談は、お買い上げ店または最寄りの下記営業所、出張所へご連絡ください。

	郵便番号	所在地	電話
○札幌電機営業所	060	札幌中央区北三条東2－2	TEL 札幌 011 (241) 1541
釧路出張所	085	釧路市松浦町12－15	TEL 釧路 0154 (23) 0491
旭川出張所	070	旭川市一条13－右9	TEL 旭川 0166 (26) 2421
函館出張所	040	函館市豊川町12－10	TEL 函館 0138 (23) 5668
帯広出張所	080	帯広市東一条南7－2	TEL 帯広 0155 (23) 9291
青森電機営業所	030	青森市本町3-8-8 コーポ本町1F	TEL 青森 0177 (75) 2781
秋田出張所	010	秋田市川尻御休町3－2	TEL 秋田 0188 (63) 3636
○仙台電機営業所	980	仙台市青葉区片平1－3－30	TEL 仙台 022 (225) 4341
盛岡出張所	020	盛岡市上田3－7－24	TEL 盛岡 0196 (23) 6451～2
山形出張所	990	山形市松波1－15－6	TEL 山形 0236 (22) 7614
郡山出張所	963	郡山市並木2－13－2	TEL 郡山 0249 (32) 3145
○新潟電機営業所	951	新潟市上大川前通3－19－1	TEL 新潟 025 (223) 6341
長岡出張所	940	長岡市南町1－4－9	TEL 長岡 0258 (35) 1755
松本出張所	390	松本市大手1－7－8	TEL 松本 0263 (36) 9085
長野出張所	380	長野市川合新田3767	TEL 長野 0262 (28) 6717
宇都宮電機営業所	321	宇都宮市錦2－4－3	TEL 宇都宮 0286 (24) 1511
水戸出張所	310	水戸市見川5－309－3	TEL 水戸 0292 (43) 3410
○関東電機営業所	330	大宮市宮原町2－127－1	TEL 大宮 048 (665) 2431
高崎出張所	370	高崎市緑町2－2－3	TEL 高崎 0273 (61) 2933
○千葉電機営業所	280	千葉市末広町3－17－17	TEL 千葉 0472 (63) 5921～4
柏出張所	277	柏市松ケ崎498	TEL 柏 0471 (33) 0821
○東京サービスセンター	113	東京都文京区湯島3－16－11	TEL 東京 03 (837) 7321
東京第1電機営業所	113	東京都文京区湯島3－16－11	TEL 東京 03 (837) 7311
東京第2電機営業所	113	東京都文京区湯島3－16－11	TEL 東京 03 (837) 7322
東京第3電機営業所	113	東京都文京区湯島3－16－11	TEL 東京 03 (837) 7333
○立川電機営業所	190	立川市富士見町1－12－1	TEL 立川 0425 (27) 6611
○横浜電機営業所	231	横浜市中区松影町1－4－7	TEL 横浜 045 (681) 8221
厚木出張所	243	厚木市旭町1－33－9 チサンビル本厚木2F	TEL 厚木 0462 (28) 0605
○静岡電機営業所	422	静岡市馬渕1－5－12	TEL 静岡 0542 (85) 9111
沼津出張所	410	沼津市東沢田814－8	TEL 沼津 0559 (21) 3677
浜松出張所	430	浜松市佐藤町848	TEL 浜松 0534 (61) 4707

	郵便番号	所在地	電話
○名古屋電機営業所	450	名古屋市中村区名駅南1-18-11	TEL 名古屋 052 (583) 1621
岡崎出張所	444	岡崎市六名本町19－8	TEL 岡崎 0564 (53) 2515
岐阜出張所	500	岐阜市一松道1-6 川合ビル1F	TEL 岐阜 0582 (46) 8571
四日市出張所	510	四日市市中町11－6	TEL 四日市 0593 (52) 8161
金沢電機営業所	921	金沢市横川町6－14	TEL 金沢 0762 (42) 7151
富山出張所	930	富山市西中野本町15－18	TEL 富山 0764 (91) 2301
福井出張所	910	福井市大願寺3－509	TEL 福井 0776 (21) 3959
○京都電機営業所	600	京都市下京区中堂寺庄の内町46-15	TEL 京都 075 (314) 2811～5
○大阪サービスセンター	542	大阪市中央区南船場2-12-8	TEL 大阪 06 (245) 3081
大阪中央電機営業所	542	大阪市中央区南船場2-12-8	TEL 大阪 06 (245) 3061
大阪電機営業所	542	大阪市中央区南船場2-12-8	TEL 大阪 06 (245) 3071
和歌山出張所	641	和歌山市東高松2－9－36	TEL 和歌山 0734 (26) 1891
○神戸電機営業所	651	神戸市中央区御幸通4-2-25	TEL 神戸 078 (231) 0451
姫路出張所	670	姫路市今宿1577－1	TEL 姫路 0792 (92) 7775
岡山電機営業所	700	岡山市上中野2－28－10	TEL 岡山 0862 (41) 2657
○広島電機営業所	730	広島市中区幟町3－63	TEL 広島 082 (221) 4321
山口出張所	754	山口市吉敷郡小郡町大字下郷2244－10	TEL 小郡 08397 (3) 5051
松江出張所	690	松江市西津田5－1－14	TEL 松江 0852 (22) 7700
○四国電機営業所	760	高松市亀岡町1－60	TEL 高松 0878 (61) 4993
松山出張所	790	松山市天山町149－1	TEL 松山 0899 (31) 3218～9
高知出張所	780	高知市高須新町2－14－7	TEL 高知 0888 (83) 0008
○北九州電機営業所	802	北九州市小倉北区浅野3-4-18	TEL 北九州 093 (521) 6581
大分出張所	870	大分市新川町1－10－7	TEL 大分 0975 (34) 7545
宮崎出張所	880	宮崎市祇園町2－117	TEL 宮崎 0985 (24) 1515
○福岡電機営業所	812	福岡市博多区上呉服町10－1	博多三井ビル9F TEL 福岡 092 (271) 4911
久留米出張所	830	久留米市上津町1690－2	第二江崎ビル TEL 久留米 0942 (22) 2122
長崎出張所	852	長崎市橋口町19－9	TEL 長崎 0958 (44) 1201
佐世保出張所	857-11	佐世保市日宇町2855－8	TEL 佐世保 0956 (31) 3208
熊本出張所	860	熊本市本荘6－3－10	TEL 熊本 096 (371) 2205
鹿児島出張所	890	鹿児島市上之園町34－15	TEL 鹿児島 0992 (56) 7281
沖縄コロムビア販売株式会社	901-01	那覇市小禄1－18－14	TEL 那覇 0988 (57) 0770

○印には「お客様相談センター」の窓口がありますのでご相談ください。

● 本社お客様相談センター　TEL 東京03(584)8111

(〒107-11) 東京都港区赤坂4－14－14

所在地・電話番号は変更になる場合がございますのでご了承ください。

90801

後日のために記入しておいてください。

購入店名：　　電話(　－　)

ご購入年月日：　　年　月　日

日本コロムビア株式会社

本　社 〒107 東京都港区赤坂4－14－14 TEL 03 (584)8111(大代表)

Printed in Japan 5111282107 NE 507